



山梨大学 工学部土木環境工学科附属
地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成26年4月30日

国立大学法人 山梨大学工学部

平成26年度事業計画：現場巡視システム

【事業の概要】

河川堤防や斜面の状況を、河川管理者、消防団や巡視を委託された住民による現場巡視に基づいて、避難判断を行う現場巡視システムを構築します。

- (1) 対象とする市町村は、中央市、甲府市、市川三郷町、新潟県見附市など。
- (2) 変状を判断する客観的評価指標の抽出
- (3) 評価指標を用いた危険度レベルの設定
- (4) 危険度レベルを用いた避難判断基準の検討
- (5) 河川財団、関東地域づくり協会へ研究助成の申請中
- (6) 新潟県見附市から業務委託予定

【役割分担】

- (1) 県庁の役割：河川管理者として取り組みに協力（県土整備部治水課）、現場巡視報告の共有（県土整備部砂防課）、県の災害情報共有（防災危機管理課）。
- (2) 市町の役割：避難情報を発令する機関として参画する。消防団、住民との調整等。
- (3) 国交省の役割：一級河川の管理者として実証に協力。
- (4) 大学の役割：住民、行政への意識づけ、実証実験の企画、実施、評価。

**河川巡視に基づいた急流河川の氾濫危険度
評価基準の構築と運用に関する研究**



図 河川財団への研究申請



写真 スマホを用いた現場巡視と報告